

医療現場の暗黙知を、AIで実装する

- Miroという、業務変革の作戦室 -

2026.07.09

ファストドクター株式会社 代表取締役 水野 敬志



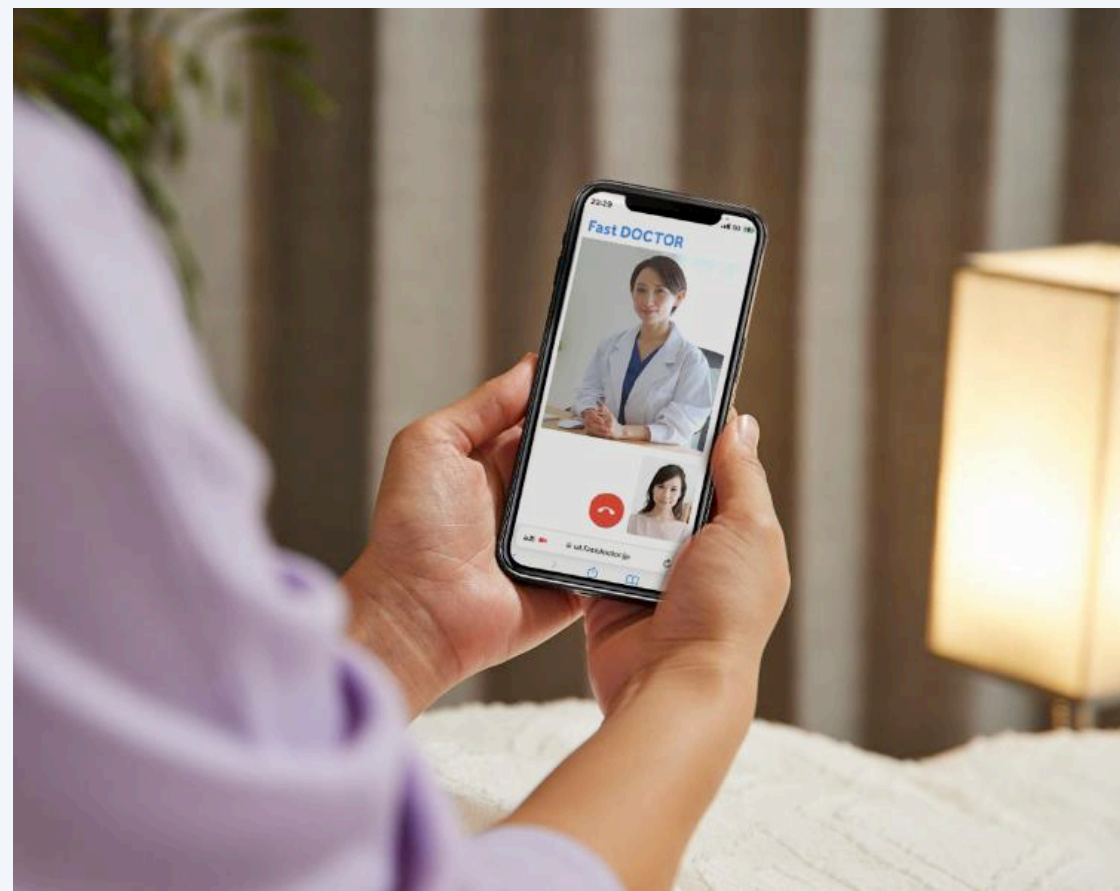
Fast DOCTOR

365日、患者宅へ医療を届け続けて10年

患者宅への救急往診



日本全国とのオンライン診療



医療を安全に届けるには、多くの職種が関与する

医療現場の安全性、医療者の納得感、患者体験を同時に扱える「共通キャンバス」が必要



Fast DOCTOR

on-site

往診医

看護師

医療事務

ケアマネジャー

ドライバー

患者・ご家族

remote

コンサル医

医療相談員

薬剤師

レセプト

エンジニア

...

Miroで現場を解剖し、AIが入る場所を発見する



事例1：診療報酬算定業務のAIエージェント化

■ 利用件数 **3.0倍** に成長

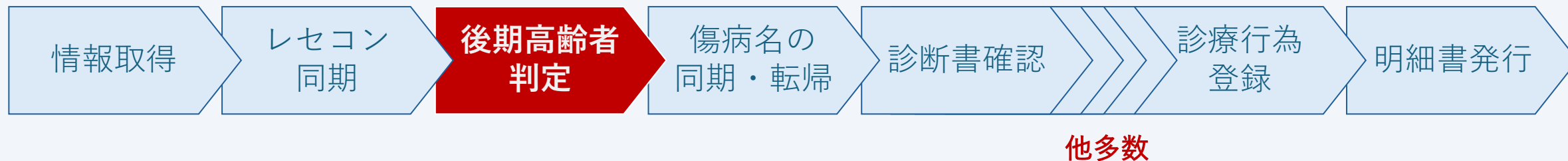


■ 必要人員 **8分の1** に効率化



Human-in-the-loopのワークフロー構築

診療完了で自動的に起動・直列に処理し、例外発生時に自動的に止まるワークフローを構築



● ● ● 算定管理画面（医療事務向け・内製） | 中断の一覧

全件 中断 3 エラー 完了

案件	状態	中断理由
R-260620-014	中断	高齢者負担割合を登録できませんでした
R-260620-013	中断	公費の種類を認識できませんでした
R-260620-012	中断	傷病名の手動転帰を行ってください

● 選択中の案件を、右の詳細で確認して再開する



● ● ● 案件 R-260620-014 / 中断の詳細

中断 高齢者負担割合を登録できませんでした

オンライン資格確認の結果が **NG** のため、高齢者負担割合を レセコンへ自動登録できませんでした。以下より割合を選択して再開してください。

高齢者負担割合を選択

☐ 0割 ☒ 1割 ☐ 2割 ☐ 3割

再開すると、続きのステップは自動で実行

再開する →

事例2：診療報酬算定エージェントを外部病院へ展開



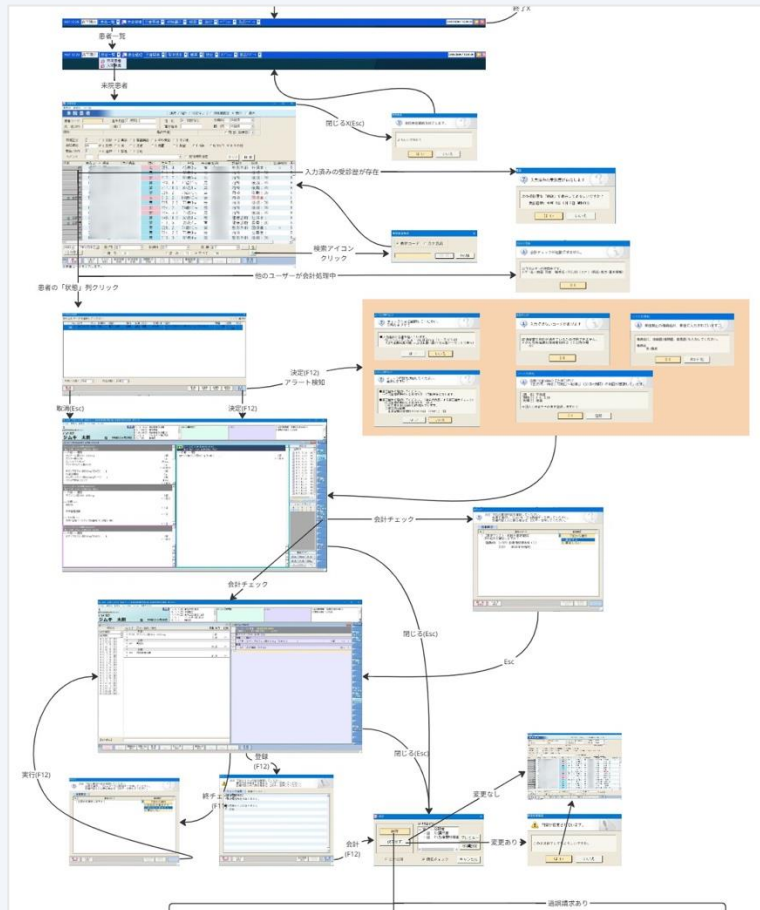
約7割の病院が赤字

年々複雑化する医療制度に
追いつくことが困難

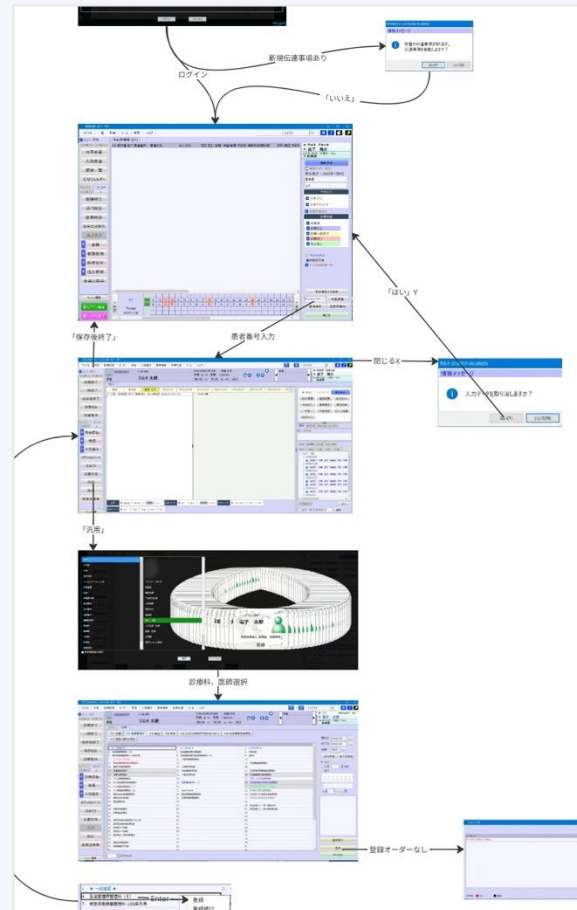
病院ごとに、創立後数十年
蓄積された暗黙知が横たわる

Miroで個別システムと暗黙知を読み解く

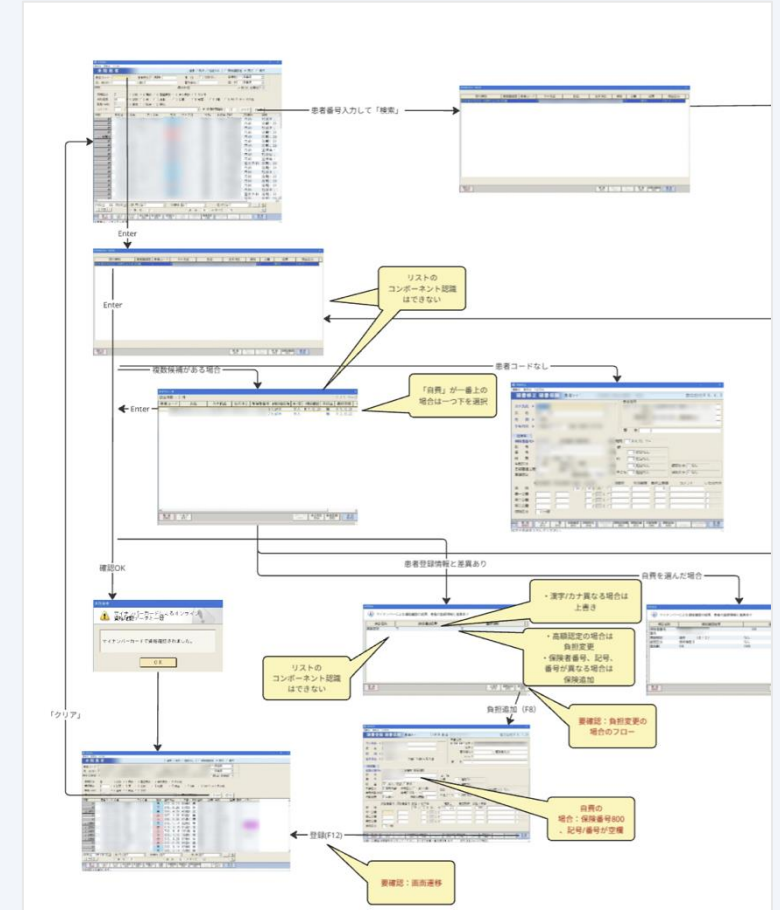
レセプトコンピューター



電子カルテ



資格確認

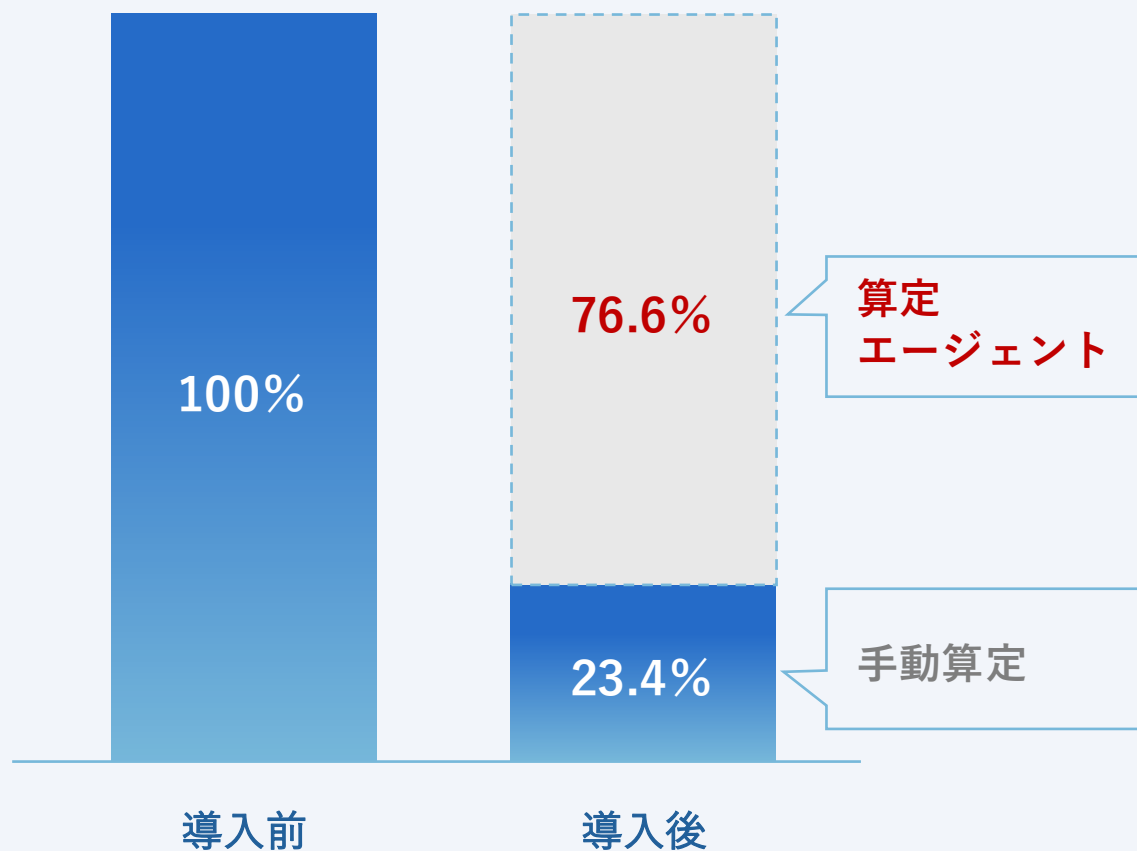


日本初の病院内での「算定エージェント」を実装（特許出願済）



外来患者のうち77%の処理を完全自動化

診療報酬の算定方法 2026年5月の会計処理回数ベース、外来のみ



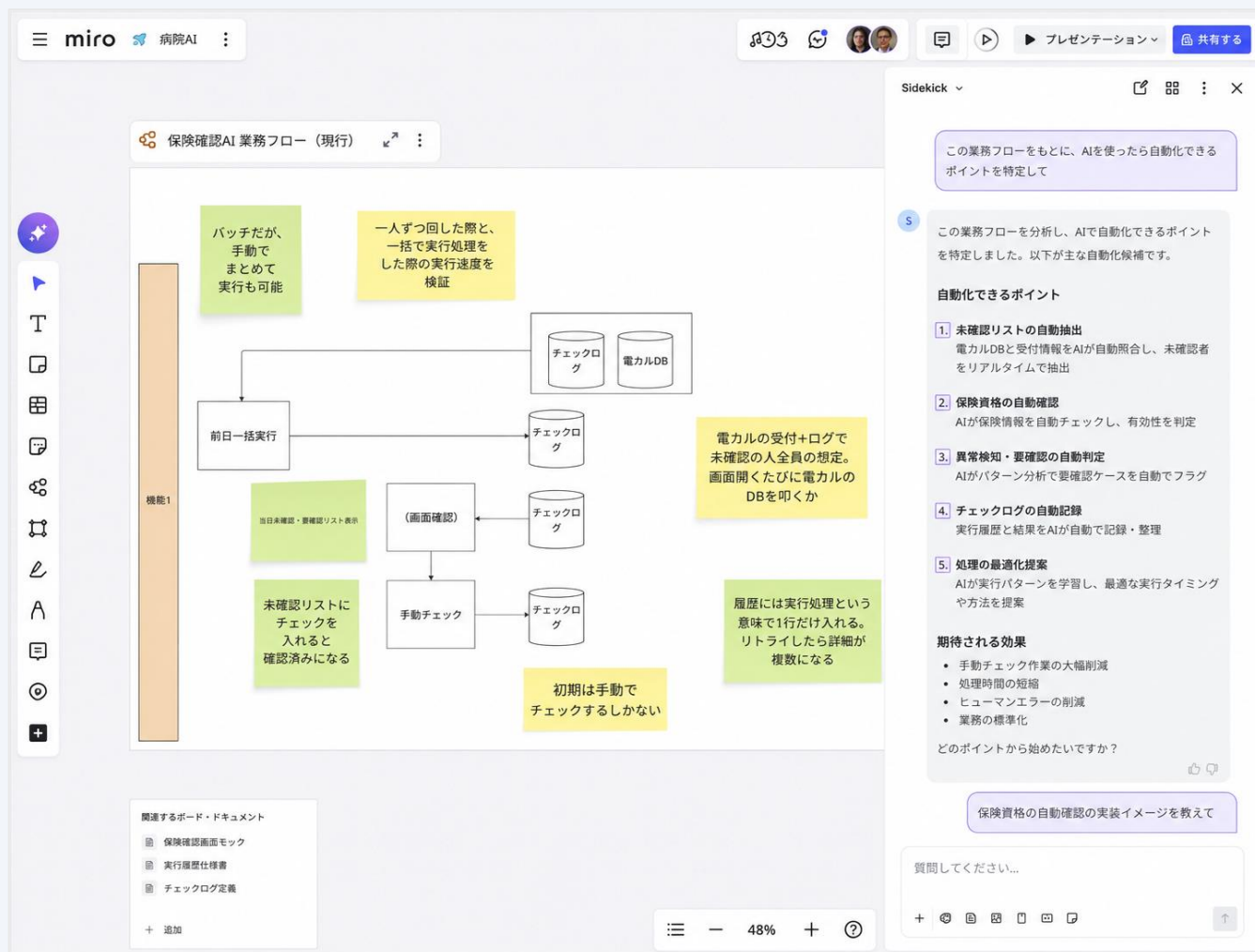
+

副次的効果

暗黙知になっていた
算定ルールが
エージェント化の過程で標準化

担当者間のばらつきが減少

Miro AI Workflowで加速する 顧客個別性への対応



1 暗黙知化している業務を正確に把握

2 顧客ごとに異なる算定エージェント実装をMiro AIが自動提案

AIエージェントの実装は、
医療現場の暗黙知を
一枚の地図に書き起こすことから始まる

